（第１０回ＩＯＣ調整委員会会議資料　抜粋）

参考 3

10th Meeting of the IOC Coordination Commission
Simplification：簡素化　25th/September

TOKYO 2020

見直し項目：（1）大会関係者の人数

【現行案】

- 今年の夏の大会計画（過去大会の実績に変更部分を反映するとともに、大会関係者等からの要望集計・調整等により作成）。

【簡素化】

- 大会関係者の人数は大会規模の主要の要素の一つであり、6月のIOC理事会での簡素化の原則の中でも、参加者削減を要請を明記。
- これまでの大会関係者へのヒアリングやアンケート等を元に推計したところ、現時点でオリンピックステークホルダーについては10～15%減の見通し。
- 大会関係者数は各種サービス量の基準であることから、この結果をそれぞれの積算に反映。
- 調査時点では未だ判断できていない団体も多くあることから、IOC/IPCとジョイントワーキンググループを立ち上げ、今後、各ステークホルダーの協力を得て、参加者数の検証とアップデートを行っていく。（引き続きの簡素化・正確な大会参加者数は、コロナ対策の観点からも重要。）

TOKYO 2020

10th Meeting of the IOC Coordination Commission
Simplification：簡素化　25th/September

TOKYO 2020

見直し項目：（6）会場における選手のパフォーマンスに関与しない仮設オーバーレイ等の仕様・サービスレベル

【簡素化】

① FOP・ウォームアップエリアの要件緩和・仮設観客席の削減
・恒設のロールバックチェアを先行整備し、仮設観客席のリース費用を削減
・ウォームアップエリア等の配置変更により、撤去・復旧費用を削減
・チケット販売に影響しない仮設観客席の整備取り止めにより、リース費用を削減

②OBS照明要件の緩和
・屋外ミックスゾーンにおける逆光対策用照明の削減
・ブロードキャストコンパウンドの屋外照明及びウォームアップ場照明の削減

③競技会場や練習会場の延期コストの抑制、競技会場における運営用スペース（諸室、ストレージ等）の縮小・統合、当日券販売用のチケット売り場の一部削減、スポーツ体験用仮設テントの削減、スポーツプレゼンテーションにかかる仮設リギング等の削減

※ FOP = Field of Play

TOKYO 2020

10th Meeting of the IOC Coordination Commission
Simplification：簡素化　25th/September

TOKYO 2020

見直し項目：（8）選手村の運営期間

【現行案】

- オリンピック選手村 開村日 2021年7月13日(開会式の10日前)

【簡素化】

- 練習会場のオープンを1日遅らせる、すなわち練習会場のオープンをオリンピック選手村の開村の翌日とし、使用期間を1日短縮することが決定された。
- 当初の提案であったオリンピック選手村の開村期間の短縮は、コロナ対策の状況を鑑みて採用されなかった（例えば、入村時に混雑が見込まれるスペースでの密接接触を避ける必要性など）。
- パラリンピック選手村の開村期間については、プレオープン期間を1日間短縮し（8月15日へ変更）、それ以外の日程については当初の予定通りとすることで合意した。

TOKYO 2020

10th Meeting of the IOC Coordination Commission
Simplification：簡素化　25th/September

TOKYO 2020

見直し項目：（15） 聖火リレーの期間・実施方法

【現行案】

- リレー実施日数は121日間
- セレブレーション実施回数は、最終日を除く113回
- 聖火ランナー数は、1万人以上

【簡素化】

- 実施日数、セレブレーション回数、聖火ランナー数は、現行案を維持し、以下の項目について効率化し、費用を削減
  - ・リレー運営隊列の一部車両の削減
  - ・グランドスタートやセレブレーションの装飾や機材の見直し
  - ・準備・実施業務に従事するスタッフ数の見直し

TOKYO 2020